

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達・放課後等デイ）

○事業所名	聴覚・ろう重複センターひまわり			
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 8日		～	令和7年 10月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 8日		～	令和7年 10月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	聴覚・ろう重複障害の特性に応じた専門的な支援に取り組んでいる	本人に合った手話、口話、指文字、表情、身振り、写真、絵カード等の視覚的なコミュニケーションを大切にしている 本人のペースに寄り添った支援を行うよう努めている	専門性、支援の質を高めるために社内研修を充実し、職員の支援の質や知識を高める 外部研修に積極的に参加し、支援の技術や知識を学び、実践に活かす
2	本人の好奇心、探求心（やってみたい、挑戦したいこと）等の遊ぶ場所、機会を事業所の活動として取り入れている	本人の主体性を大切にし、個別と集団活動の内容作りに努めている 学校休業日・長期休暇では、利用者の意向や希望が反映された企画（調理、お出かけ等）を実施し、本人にとって様々な経験ができるよう工夫している	個別や集団活動の取組みに本人の主体性を持たせるよう意見を伺いながら活動内容をより充実する 企画内容について多くの体験ができるよう地域、社会参加の機会をつくる
3	幅広い年齢層のお友達との関わりができる環境になっている	年下の子が年上の子から遊びのルールを学んだり、年上の子に年下の子が言葉を教えたりと刺激し合えるよう働きかけている	協調性や社会性が身につき、生きる力、他者への思いやりの心を育むことができるよう適切な活動を用意する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ホームページやInstagram等、事業所の活動様子の発信が少なく、また保護者への認知度がやや低い	ホームページやInstagram等の情報の発信の頻度が少ないことや更新の時期がまちまちである	個人情報保護に注意しつつ、SNSの活用とともに保護者に再周知する
2	保護者同士の交流の機会が少ない	働いておられる保護者も多いなどの要因はあるが、お子さんが高学年になるほど交流する機会が少ないと思われる	保護者同士の交流会を設け、当事者の講師を招いたり自由に情報交換がしやすいような内容にする
3			